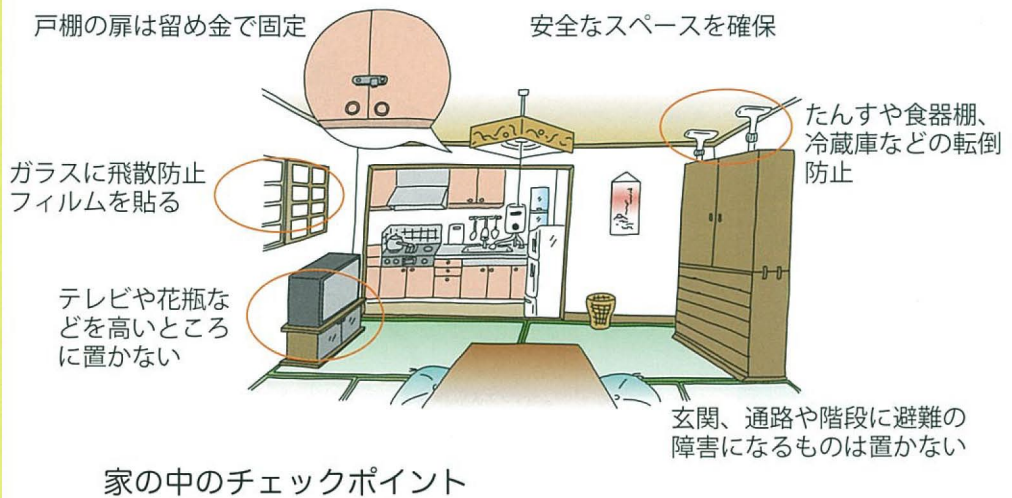


7 家具や塀の地震対策も重要です

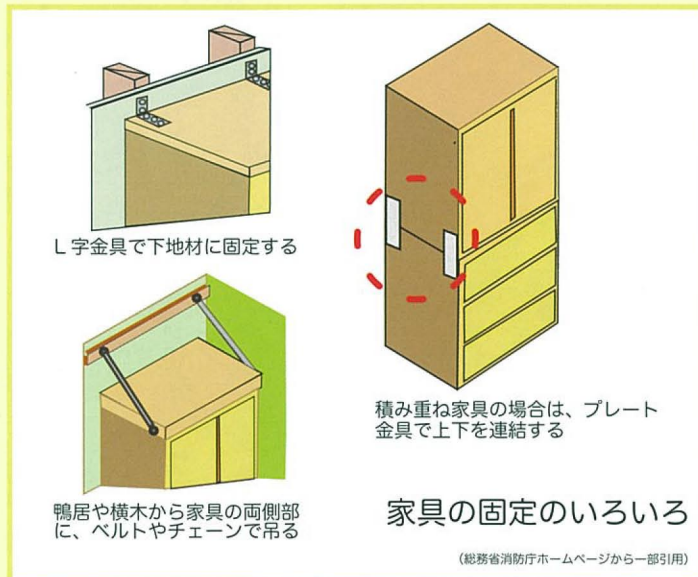
■ 家具の対策

地震の際のけがなどは、住宅の中で起こっています。平成16年新潟県中越地震においても負傷者の約5割は、家中での窓などのガラスの飛散や家具類の転倒・落下によるものでした。

家具や家電製品など、家中での地震対策をしましょう。



東京都資料をもとに作成

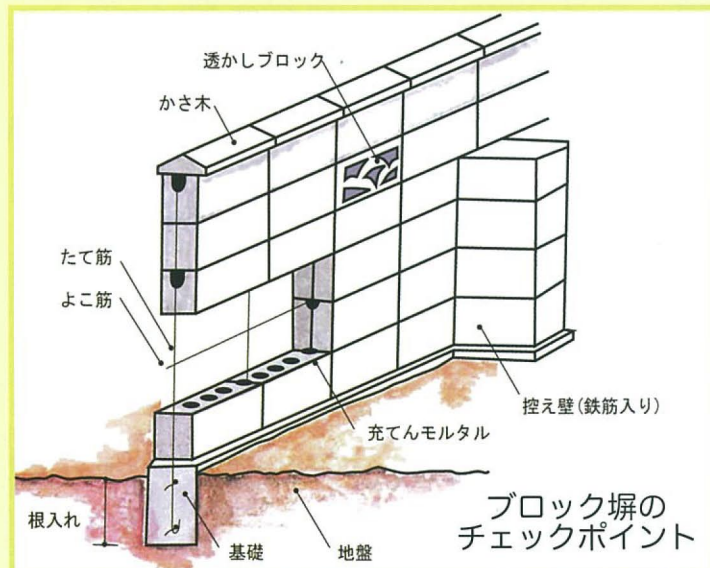


- ◆固定器具を用いて家具や家電製品を固定する。
- ◆食器等の収納物が飛散することのないように、扉の開閉を防ぐ器具を取り付けたり、ガラス飛散防止フィルムを貼る。
- ◆睡眠や食事をする場所の近くに、家具や家電製品をなるべく置かない。
- ◆いざというときの避難経路の近くに、家具や家電製品をなるべく置かない。
- ◆家具の中では、下に重いもの、上に軽いものを置く。
- ◆造り付けの収納やウォークインクローゼットの設置等の住宅のリフォームを行う。

■ブロック塀や石塀の地震対策をしましょう

昭和53年宮城県沖地震では、ブロック塀の倒壊により11名の犠牲者がありました。

ブロック塀が倒壊した場合、その管理責任は所有者にあります。所有するブロック塀・石塀の安全性の点検を行い、必要に応じて撤去や転倒防止対策を行ってください。



このマップについてのお問い合わせは、こちらへお寄せください。

大和町役場 総務まちづくり課 TEL (代) 022-345-1111